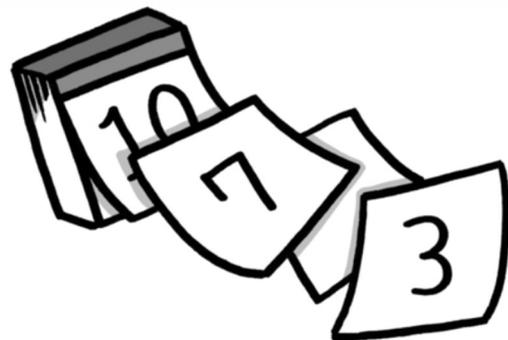


## あけましておめでとうございます！2025年もよろしくお祈いします！



あけましておめでとうございます！2024年も本当にあつという間に終わってしまったような気がしますね。毎年もう一年終わってしまったのかと時間が過ぎるのがとても早く感じてしまわないでしょうか。歳を重ねるごとに時間が早く過ぎると感じるのには理由があるそうです。年月の長さは年少者はより長く、年長者はより短く感じる現象には、「ジャンーの法則」という心理的なものがあります。1歳の時に感じた1年を1/1とすると、2歳の時の1年は1/2となり、1歳の時の2倍速く感じるようです。そう考えると、10歳の子は1歳の子より10倍速く感じ、50歳の人は、1歳の子の50倍速く感じるということになります。

このように感じてしまう理由には、子どもの頃は、見るもの聞くものが初めてのことばかりで、毎日が新鮮で、新しい出会いや発見が多々あります。しかし大人になるにつれ、新しい経験をする機会が少なくなってしまうことで、日々の生活に新鮮さがなくなり、時間があつという間に過ぎてしまうということです。そのため、1年を長く過ごすために様々なことに新たにチャレンジしてみたいはかがですか？吉和ふれあい交流センターでも、昨年よりも多くの方に楽しんでいただけるように様々な行事にチャレンジしていきますので、2025年もよろしくお祈いいたします！



## 吉和地域に本格的な冬がやってきました！

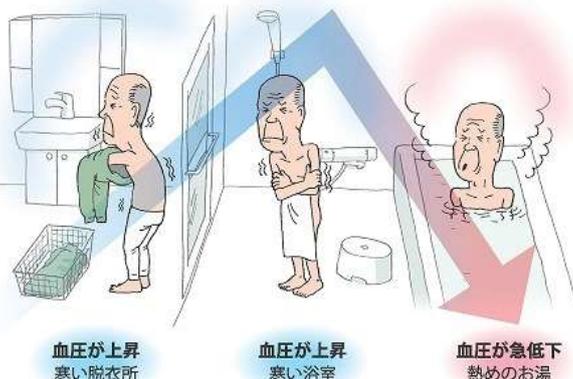


12月に入り雪の降る日が多くなってきました。朝夜の冷え込みも一段と厳しくなり、いよいよ吉和に冬がやってきたとを感じるようになってきました。また、吉和では12月13日(金)に女鹿平スキー場もオープンし、多くのお客さんで賑わっている様子でした。疲れた後は吉和の温泉に入って吉和の冬をしっかりと満喫してください！スキーやスノーボード、雪遊びなどで吉和地域に来られる方々は、雪に関わる事故なども起きていますので、スタッドレスタイヤの装着、タイヤチェーンの携行など雪道への対策をしたうえで

でお越しいただくようお願いします。

今後も厳しい寒さがまだ続いていきます。また近年はヒートショックにも注意が必要です。入浴など急激な温度差により、血圧の変動が大きくなり体に負担がかかる結果、失神や心筋梗塞、脳出血や大動脈剥離を引き起こしたりします。ヒートショックの予防には、脱衣所と浴室をしっかりと温めてから入浴することやお風呂は熱くしすぎず、湯船に入る前にはかけ湯をするなどして、寒暖差をなくして急激な体温の変化を防ぐことが重要です。体調管理にはお気をつけてお過ごしください。

冬季の入浴でヒートショックが起きるイメージ



## 年末特別警戒が行われました！

12月28日(土)、29日(日)に、廿日市市消防団吉和分団の皆さんによって吉和地域内で、年末特別警戒が行われました。冬から春にかけては、空気がとても乾燥し降水量も少ないため火災が多くなる傾向にあります。空気が乾燥すると空気中の水分量と同じように、建物や家具などに蓄えられる水分量も少なくなります。そのためちょっとした火の気が大きな火事につながりやすくなってしまいます。また冬場は寒くなるため、暖房器具の使用機会が増え、消し忘れや間違った使い方などから火災が発生してしまうからです。



特に注意したいものは、コンロやストーブなどの暖房器具です。

就寝時にストーブなどを足元にあてて寝ると、とても気持ちの良いものですが、ストーブの近くに物を置くことはとても危険です。また外出前などもスイッチの切り忘れで火災になることもあるため、就寝時や外出時には必ずスイッチを切ったか確認をするようにしましょう。カセットコンロなどを使う際も、カセットガスを熱源の近くに置かないなど燃料の適切な管理が大切です。また基本的なことではありますが、寝タバコなども火災の原因としてとても多い内容です。こちらもうっかりしてしまわないよう冬場の火の取り扱いには細心の注意を払うようにしましょう。

## とんど祭りが開催されます！

1月13日(日)にとんど祭りが開催されます。12月21日(土)に吉和ふれあい交流センターで行われたしめ縄づくりに参加された方は、ぜひしめ縄を持って参加していただければと思います。その他の方もしめ縄や門松、書初めなどお持ちの方はお越してください。とんど祭りとは様々な地域で行われており、地域ごとに名称や祭りの内容も様々です。広島県の多くの地域では、「とんど」や「とんど焼き」といった呼び方が一般的であり、大きく長い孟宗竹を軸に内部に雑木や藁入れ、正月飾りのしめ縄や門松、書初めを燃やします。そしてある程度燃え尽きてから餅を焼いて食べたりする方法が多いようです。



島根県松江市などでは、「墨付けとんど」という祭りを1月に行っており、とんどという名前が入っていますが祭りの内容は少し違うようです。墨付けとんどでは、広島県と同じように竹で櫓を組んでいきますが、櫓が組み終わると地域の女性たちが参加者の顔を黒く墨で塗り、町内を神輿を担いで練り歩いた後、神輿を担いだまま海に入っていくそうです。その後神社に帰り、後日竹で組んだ櫓が燃やされるそうです。顔を黒く塗る理由は、1年間風邪をひかず海難に遭わないようにという願いを込めて行うそうです。

それぞれの地域で祭りのやり方は違いがありますが、無病息災などを祈っているのはどこも同じのようです。皆さんも吉和とんど祭りにぜひ参加していただき、無病息災を祈り1年間元気に過ごしましょう！

吉和の人口(令和6年12月1日)現在				
	総人口	男性	女性	世帯数
	561人	282人	279人	310世帯
先月比	+2	+1	+1	+3